

季刊

# 河井克行



下向地区で長年親しまれている縁起物の獅子舞  
「運気が上がる」と太鼓判を押されました  
(11月11日・沼田ふるさとまつり)

2019年

新春  
号

## 自民党総裁外交特別補佐に再任

～安倍首脳外交を全力で支える～

10月3日、河井克行代議士は首相官邸で安倍晋三内閣総理大臣と面会し、「引き続き党において外交面で自分の補佐をして欲しい」と自民党総裁外交特別補佐の再任を命じられました。総裁外交特別補佐の役職は、河井克行代議士が外交担当の内閣総理大臣補佐官を退任した2017年8月新たに設けられました。

わが国の平和と独立と繁栄を守るため、日米同盟の深化、「自由で開かれたインド太平洋戦略」の推進、自由貿易体制の堅持と自由主義陣営の結束強化、「北方領土」問題の解決と日ロ平和条約の締結、北朝鮮の拉致・核兵器・ミサイル問題の解決と日朝国交正常化、「新三原則」に基づく日中関係の改善などに全身全霊で取り組む安倍総理大臣の“首脳外交”を間近から支える決意を、河井克行総裁外交特別補佐は新たにしています。

さらに11月26日、河井克行代議士は自民党行政改革推進本部(本部長:塩崎恭久元内閣官房長官)の本部長代理に任命されました。50年後の日本の危機に備えるため、新たな国のあり方、官と民の役割分担の見直し、官の無駄廃止と国民負担の最小化、そして昨今うち続く不適切な行政行為の撲滅に取り組んでまいります。

河井総裁特別補佐を再任  
首相  
安倍晋三首相(自民党総裁)は3日、河井克行総裁外交特別補佐を再任すると決めた。同日、首相官邸で河井氏に伝えた。党の立場から首相の首脳外交を側面支援する。

『日本経済新聞』10月4日付

## 安倍総理大臣の自民党総裁三選を支援

～無派閥議員の会「向日葵会」が活躍～

9月20日に行われた自民党総裁選挙で安倍晋三候補は、国会議員票・党員票合わせた全体得票数の3分の2を獲得、次点候補を大差で離して三選を果たしました。

河井克行代議士が主宰する「向日葵(ひまわり)会」は、安倍候補の支持拡大に努めました。「向日葵会」は、河井克行代議士が無派閥議員を中心に結成した情報交換と勉強の場で、オブザーバーを含め衆参国会議員15名が加わっています。6月27日には安倍総理大臣を河井克行代議士行きつけの広島お好み焼き屋さん(お好み焼)に招き、2時間も意見交換を行いました。首脳外交の裏話から若手代議士の頃の逸話まで楽しく気取らず語られ、大いに盛り上がりました。

また、9月11日に広島県民文化センターで開催された「安倍晋三を激励する広島大会」でも、河井克行代議士は支援お愿いの挨拶を行いました。



## 第31次ワシントンD.C.出張

～米朝首脳会談直前情勢を探る～

河井克行自民党総裁外交特別補佐は5月23日から26日までワシントンD.C.を訪れました。米朝首脳会談の延期がいったん発表される不透明感漂う中で、北朝鮮問題の専門家たちと相次いで会談を行ったほか、カーネギー国際平和基金で英語による講演・質疑応答を行い、危機突破のために安倍総理大臣が果たしてきた役割をワシントンの有識者たちへ発信しました。



カーネギー国際平和基金で講演  
『金正恩を甘く見るな～日本から見た米朝首脳会談～』



デトラニ元「六者会合」米国代表



元国家情報局(DNI)東アジア担当副情報官のバク・ブルッキングス研究所上級研究員



ドール大統領候補選対本部長を務めたリード全米商議所上級政務戦略官に中間選挙見通しを聞く

# 米連邦議会に慰安婦像計画

## 韓国系団体 自民議員が懸念伝達

### 歴史戦

【ワシントン＝加納宏幸】韓国系米国人団体「ニューヨーク韓人会」が6月7日、ニューヨーク・マンハッタンの韓人会館に設置された慰安婦像を首都ワシントン

ントンの連邦議会議事堂に運び込んで「特別展示」を実施する動きがあり、訪米している自民党の河井克行総裁外交特別補佐が23日、野党・民主党の上院議員に対して日本の懸念を伝えた。展示にはニューヨーク州選出の複数の同党下院議員が関与しているという。ニューヨーク韓人会は、

韓国・ソウルの日本大使館前などに設置されているものと同様の慰安婦像を、韓人会館にある博物館で展示している。関係者によると、議事堂の見学などに使われるビジターセンター内の一室にこの像を持ち込み、展示する計画を立てている。ニューヨーク州選出のキャロリン・マロニー下

院議員(民主)のほかアジア系の同党下院議員らが出席を予定している。

河井氏は23日、日系でハワイ州選出のグリーン・ハナアサ下院議員(同)と面会し、特別展示について「米朝首脳会談を目前とする時期に、日米韓3カ国の連携を分断する動き」と懸念を伝え、展示に関わる議員らに対する働きかけを要請した。

ハナアサ氏は日本の懸念を理解しつつも、表現の自由があることから中止させるのは難しいとの認識を示したという。河井氏は他の議会関係者にも要請する予

定た。

韓国系団体による連邦議事堂内の慰安婦像展示計画への懸念を伝達

『産経新聞』5月25日付

# 第32次ワシントンD.C.出張

～バノン元大統領首席戦略官と再会、二時間話し込む～

河井克行自民党総裁外交特別補佐は6月28日から7月4日までワシントンD.C.を訪れました。6月12日にシンガポールで開催された史上初の米朝首脳会談の分析・評価について情報収集を行いました。また、Sasakawa Peace Foundation USA で行った英語の講演『日本から見た米朝首脳会談』は関心呼び、米国政府、シンクタンク、メディアから多くの参加がありました。



◀バノン氏会談を報じる  
『TBSニュース』7月1日



笹川平和財団での講演を報じる 左:『NHKニュース』右:『日本テレビニュース』7月3日

2017年12月以来、河井克行総裁外交特別補佐がバノン氏と会談するのは4回目。北朝鮮の「非核化」や中国の拡張主義といった外交・安全保障からホワイトハウスの内幕や中間選挙の展望にいたるまで、幅広く意義深い充実した意見交換を行ないました



講演後のさまざまな質疑に答える



リッパート前駐韓米国大使と昼食会



トランプ政権に大きな影響力を持つ「アメリカ保守同盟 (ACU)」のシュラップ会長



ペンス副大統領に近いハドソン研究所ワインシュタイン所長、リビー副所長と再会



トランプ政権内情に詳しいロバート・キミット元財務副長官と再会



米国の駐韓大使に一旦は決定したチャCSIS朝鮮部長



北朝鮮問題に精通するリトワック・ウィルソンセンター上級副所長

# 第6次フィリピン共和国出張

## ～ドゥテルテ大統領表敬、マラウイ市廃墟視察も～



マラカニアン宮殿にドゥテルテ大統領を表敬。2年数ヶ月間で9回目の会談は、大統領が河井克行自民党総裁外交特別補佐の顔を見るやいなや「My friend!」と笑顔で握手をしたことから始まりました



直前に宣誓式を終えたばかりのロクシン新外務長官も同席し、大統領から紹介されました

河井克行自民党総裁外交特別補佐は10月16日から19日までフィリピンを訪れました。安倍総理大臣から預かったメッセージをドゥテルテ大統領に伝えたほか、イスラム過激派ISとの戦闘により壊滅した南部ミンダナオ島のマラウイ市を、大統領の要請により戒厳令発令後外国の政治家としては初めて視察しました。

### 慰安婦像撤去「歓迎」と河井議員 首相メッセージも大統領に

フィリピンを訪問して  
いる河井克行衆議院議員

（自民党総裁外交特別補佐）は17日、ドゥテルテ大統領と会談、首都圏マニラのロハス大通り沿いにあった慰安婦像撤去について安倍晋三首相からの「メッセージ」を伝えた。

会談後、報道陣の質問に河井議員は個人的な見解として「一度設置された慰安婦像が撤去されたのは世界でも初めてのことではないか」と撤去を評価し「歓迎している」と述べた。ただし、首相メッセージの具体的内容は明らかにしなかった。河井議員は1月の会談時に慰安婦像設置について大統領に懸念を伝えていた。

慰安婦像は昨年12月に比国家歴史委員会が許可して設置されたが、今年4月に比政府が撤去した。撤去前に在フィリピン日本大使館や当時の野田閣内閣総務相も遺憾の意を比政府に直接伝えていた。

河合議員はまた、11月にシンガポールで開催される東南アジア諸国連合（ASEAN）首脳会議かパプアニューギニアで開かれるアジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会議でドゥテルテ大統領と会談したいとの安

倍首相の意向を伝えたい。河井議員のドゥテルテ大統領との会談は今年1月以来で9回目。議員は18日にミンダナオ地方マラウイ市の視察を行う。

### 自民・河井総裁補佐、比大統領と会談へ

自民党の河井克行総裁外交特別補佐は16日から4日間の日程でフィリピンを訪問し、北朝鮮の完全な非核化に向けた対応などをめぐりドゥテルテ大統領と会談する。河井氏が15日、安倍晋三首相と首相官邸で面会後、記者団に明らかにした。フィリピン政府とイスラム過激派との戦闘があった比南部ミンダナオ島マラウイの現状も視察し、現地の復興についても協議する。

『産経新聞』10月16日付

『日刊まにら新聞』  
10月19日付



大統領最側近の閣僚であるドミンゲス財務長官とメディアルディア官房長官と夕食会



日本政府観光局マニラ事務所開所記念式典で祝辞



大統領の長年の親友であるテ氏と再会



マラウィ市壊滅地区を歩く河井克行総裁外交特別補佐

# 「復興に時間が必要」

## 河井衆院議員、マラウィ視察

フィリピンを訪問している 党総裁外交特別補佐は18日、河井克行衆院議員（自民）は、過激派との戦闘終結か

ら1年がたったミンダナオ地方マラウィ市を日本の政治家として初めて視察した。河井議員は「日本の支援による道路整備が12月に始まるが、地雷がまだ50以上残っており時間が必要」と述べ、被害の大きさと復興の遅れに理解を示した。

マラウィ市の戦闘では、国軍兵士と警察官計165人が死亡、マウテ・グループなどのイスラム過激派は974人が死亡した。（森永亨）

河井議員は国軍やマラウィ復興特別委員会関係者と午前中からマラウィ市を視察、最も被害の大きかったアグス川の東側に位置する旧戦闘地域に入り、ロケット弾により天井に無数の穴の開いたグラントモスクや聖マリア大聖堂などを見学した。

河井議員は日本が支援する予定の道路や下水道整備の終了後には、「破壊され



『日刊まにら新聞』10月18日付

# 激変する外交・安全保障について 活発な言論活動を展開

## 「北朝鮮を焦らせたトランプ書簡の破壊力」

安倍晋三自民党総裁の外交特別補佐である河井克行衆院議員の「写真」が、31日目の米ワシントン訪問から帰国した。北朝鮮問題の専門家、情報関係者、国会議員ら7人と会った分析結果を語った。

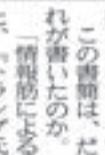


「5月24日下ナルド・トランプ大統領は書簡で、金正恩（キム・ジョンウン）朝鮮労働党委員長に「6・12首脳会談」の中止を通告した。この書簡の内容はよく考えられ、表現も練られたものだった」

「書簡のきっかけは、北朝鮮の崔善姫（チェ・ソンヒ）外務次官が談話でマイク・ペンス米副大統領を口汚く罵倒したことだ。トランプ氏は正

恩氏に宛てた書簡で、(your most recent statement)と書き、「崔氏の談話は、お前が出したのだから、俺は見抜いているぞ」というトーンを強く出した。この状況で、なぜ首脳会談を開けるのか、と」

「この書簡は、だれが書いたのか、情報筋による」と、トランプ氏本人が口述し、ジョン・ボルトン大統領補佐官がまとめたのではないかと、その見方が強かった。この前後、正恩氏は計算違いをした」



## 鈴木棟一 風雲永田町

5847

「正恩氏は揺れ動いていた。核の完全廃棄に一度はハラを固めたが、朝鮮人民軍の強硬派からの突き上げもあり、すべての核兵器を失うこと計算違いとは」

本人が口述し、ジョン・ボルトン大統領補佐官がまとめたのではないかと、その見方が強かった。この前後、正恩氏は計算違いをした」

## 河井克行氏「揺れた正恩氏」

(政治評論家)

## 正恩氏34歳「長期戦略の企み」

自民党総裁外交特別補佐の河井克行衆院議員の「写真」が17日朝、都内のホテルで「金正恩（キム・ジョンウン）氏を甘く見るな」と題して講演した。

「超強硬路線だった北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長は、『対話』路線に舵を切った。3つの要因がある。『恐れ』『焦り』『たくらみ』だ」



河井氏が続けた。

「米軍の軍事行動への恐れ。経済制裁への焦り。しかし、正恩氏は受け身だけでなく、したたかに、たくらみを加えた。『日米韓の分断』と『米韓同盟の解体』だ。正恩氏のすべての行動の裏に、たくらみがある」

さらに、「正恩氏は関係国を手玉

に取っている」という。

「米国の牽制（けんせい）するたに中国を要請訪問した。中国を牽制するために、ロシアへ外相を派遣し、日本を牽制するために、あえて無視している」

正恩氏は今、34歳とされる。この点を河井氏は強調して言った。「あと20年経っても、54歳だ。選挙で落ちること、政権交代もない。長期戦略に出られる。今の包囲網を何とか突破しさえすれば、外国からの援助も投資も来る。韓国企業が進出して豊かな北朝鮮をつくれる。彼の悲願は、北朝鮮主導の朝鮮半島統一だ」

## 鈴木棟一 風雲永田町

5836

「これまでに在韓米軍を『金のムダ』と公言してきた。この点で不安が残る。もし、在韓米軍が撤退すれば、日本にとって悪夢だ。これを機に国連の制裁が解除され、韓国で『親北』政権が勢いづく。正恩氏による朝鮮半島の統一が進む。日本との境界が、現在の北緯38度線から対馬海峡までおぼろげになる。この認識を米国の国会議員に伝えて同意してくれた」

6月12日にシンガポールで予定される、トランプ氏と正恩氏による米朝首脳会談について、

「これに関連して、河井氏は『在韓米軍の撤退』に

## 河井克行氏「関係国を手玉に」

「不安が生じた。そして、トランプ氏のツイッターを見て、甘く考えた。どういうことか。トランプ氏は、意識してやったのなら、大したものだが、首脳会談に前のめりで、『心から欲している』と発言を続けた。正恩氏はこれを見て、ひょっとすると低レベルの核廃棄を認めてくれるのではないかと、崔氏の談話で様子見をした。トランプ氏は無様な発言に「撃ちかました」

「一連の動きを河井氏が総括した。『正恩氏のたくらみに対する1通の書簡の破壊力を見つけた。低い水準で俺は妥協しないぞ』と、同時に

「書簡の最後に『もし、あなたの気持ちが変わったら、速速なく電話か、手紙をくれ』と書いた。金英哲（キム・ヨンチョル）朝鮮労働党副委員長が1日、正恩氏の親書をワシントンに持参したが、このメッセージへの返書だ」

北朝鮮は、低姿勢なのだ。トランプ氏に「発かまされて、焦った正恩氏はナンバー2の金英哲氏を派遣した。金英哲氏はニューヨークでマイク・ポンペオ國務長官と会談し、続いてワシントン入りした。北朝鮮は、誠実に対応している。米朝首脳会談は、

「いずれ行われると見るが、十分な成果を得られる期待は薄い。会談が延期されたら軍事行動の可能性が高まる、との見方が情報筋から出た」

「北朝鮮への圧力ばかりで、安倍晋三政権は孤立しているとの見方がある。北朝鮮は米国人3人の解放の裏で、世論の分断、混乱（かくらみ）を行っている。『米国の人質は帰ってきたが、日本人拉致被害者はどうなった』というのは、日本を難問させる動きだ。『数報の外』論は結果的に、北朝鮮の策謀に乗せられている」

(政治評論家)

第31次ワシントンD.C.出張

『夕刊フジ』5月19日付

『夕刊フジ』6月5日付





自民党東京都連TOKYO 自民党  
政経塾専門政治コース(党本部・6月19日)



「安倍総理こそノーベル平和賞だ」  
月刊『Hanada』7月初夏号



BSフジ「LIVE プライムニュース」『総括「米朝首脳会談」～日  
朝首脳会談の可能性と“拉致”解決への道』6月22日放送



自民党北海道連HOKKAIDO 政治塾  
(札幌市・7月21日)

# 米朝会談で「同盟の本質変わった」

シンガポールで12日に開かれた米朝首脳会談を踏まえ、自民党総経外特補佐の河井克行衆院議員が15日、語った。

「この米朝会談の真の衝撃が、またたく間に解されていきな



何が衝撃か。

「同盟の本質が劇的に変わったことだ。日米、米韓、米英など自由世界の同盟は、これまで『価値の同盟』だった。価値とは自由、民主主義、法の支配、公平・公正

・平等、透明性などの共有だ。それが今回、『価値から取引の同盟へ』と本質が変わった」

「直前に、カナダのシャルルボワでG7サミット(先進7カ国首脳会議)があり、閉幕前に会場を後にしたトランプ氏はシンガポールに向かう機中から、探検された首脳宣言を『承認していない』と、ちゃぶ台返しし

で、一言もトランプ氏を批判しない。現実が変わったから、批判してもしょうがない」

河井氏が、中国に触れた。「今回の会談の結果を喜んだのは、中国だ。最も恐れていた『北朝鮮の体制崩壊』がなくなり、米朝が軍力行使する可能性も低くなった。在韓米軍の実体は、中国に備えているが、この縮小・撤退を習近平国家主席は確信した」

## 鈴木棟の風雲永田町

「ドナルド・トランプ米大統領は、米韓合同軍事演習の中止を記者団に公言した。恐らく、韓国との打ち合わせなど事前に全くなかっただろう。中止の理由は『金がかかりすぎるから』と言った。これは、価値ではない」

強権・抑圧・独裁。同盟国の指導者たちを批判した。シンガポールでは、『アメリカ・ファースト』を、トランプ氏は忠実に果たしている」

「正恩氏が非核化をやるわけがない。必ずウソをつくし、ウソがばれる。日本は『約束が違うではないか』と指摘する。トランプ氏が、もう一度ちゃぶ台返しする場

安倍晋三首相の対応は、「すべてを飲み込んだうえ

# 河井克行氏「価値から取引へ」

シンガポール米朝会談を踏まえて

『夕刊フジ』6月19日付

# 20回記念「ゆめづくり [夢創造]フォーラムin TOKYO」開催

衆議院初当選で第1回を開催してから20回目を迎えた『ゆめづくり[夢創造]フォーラム in TOKYO』を6月6日、東京都内のホテルで行いました。日頃からご支援をいただいている東京後援会の皆さま、先輩・同僚の国会議員が河井克行代議士の激励に駆けつけていただきました。



大口善徳・公明党国会対策委員長  
(現・厚生労働副大臣)



田中和徳・元自民党組織運動本部長  
(現・衆議院予算委員会筆頭理事)



今回も菅義偉・内閣官房長官が講演



吉川貴盛・自民党経理局長  
(現・農林水産大臣)



下地幹郎・日本維新の会政務調査会長  
(元・防災担当・郵政民営化担当大臣)

## 平成最後の園遊会に招かれました



11月9日、小雨が降る赤坂御苑で行われました秋の園遊会に河井克行代議士はあんり夫人ともどもお招きにあずかりました。



平成八年初当選同期の河野太郎外務大臣夫妻と

## 地域医療の充実・強化を菅官房長官に要請

河井克行代議士が幹事長を務める「医療政策研究会」(会長:武見敬三・元厚生労働副大臣)は自民党の国会議員116人が集う、地域医療の確保や国民医療・介護の充実・強化を図る議員連盟です。2019年度の予算案編成や税制改正大綱策定を控えた11月20日、首相官邸に菅義偉内閣官房長官を訪ね、会の『決議』を手渡しました。これからも患者本位の医療政策の推進に汗を流して参ります。



## 津川雅彦さん・朝丘雪路さん 合同葬お別れの会に参列

11月21日、東京都青山葬儀所で開催された津川雅彦さんと朝丘雪路さんの合同葬お別れの会に招かれた河井克行代議士はあんり夫人と参列いたしました。奥田瑛二さん、五木ひろしさん、黒柳徹子さん、安倍晋三内閣総理大臣の心のこもった弔辞につづき、一人娘の真由子さんから「千穂楽の幕を引く拍手を二人に送ってやってください」と呼びかけられ、会場に万雷の拍手が起きました。ご冥福を心からお祈りいたします。



美味しいイタリア料理屋さんで夫婦そろってご馳走になったことも(2016年12月)



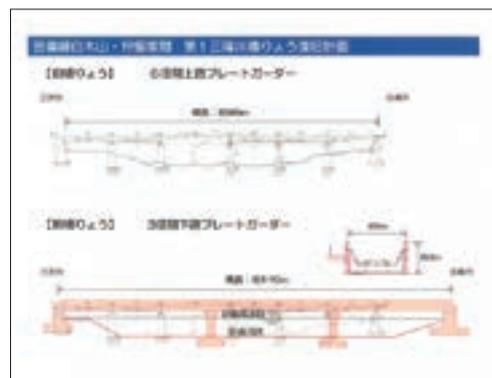
河井克行代議士を励ます「ゆめづくり【夢創造】フォーラムPart19」では発起人を代表してご祝辞(2017年5月)

# 河井克行代議士は今日も「7月豪雨災害」の迅速な復旧・復興に取り組んでいます

## 2019年秋のJR芸備線全線運転再開に道筋をつける

三篠川に架かる橋梁が流された芸備線の復旧工事協議がJR西日本と河川管理者である広島県の間でまとまり、2019年秋頃の全線運転再開見込みが11月5日発表されました。これまで5つの橋桁で支えていた構造を2本の橋桁に変更、橋長も86メートルから110メートルに延長、頑丈な橋梁に生まれ変わります。また、地元から要望があった左岸下流の「ふくらんだ」箇所の掘削も行うことになり、堤防への水流の抵抗がより少なく、安全性が向上します。

現場が県管理区間であるため、JRとの協議が遅れることを懸念する地元の声を受けた河井克行代議士は、国土交通省の水管理・国土保全局長と鉄道局長にJR西日本と広島県に助言をするよう強く要請。早期の運転再開を実現することができました。



また、河井克行代議士の要請によって、芸備線下三田地区橋梁復旧工事のJR西日本説明会が11月18日、白木公民館で行われました。早期全線運転再開を要望する署名にご協力いただいた277の沿線団体長に対して、JRから運転再開の見通しが直接説明されました。その場で出された代行バスの最終時刻を遅くしてほしい要望には、下深川駅22:40発～志和口駅23:14着の最終便を追加運行することをJR西日本が応えました。

説明会終了後、代行バス運行の諸課題につき、広島県立向原高校と広島市立白木中学校の学校長・PTA 会長と河井克行代議士は意見交換を行いました。子供たちの通学利便性を高めるため、これからも文部科学省へ働き掛けていきます。



## 三篠川(県管理区間)が 国の災害復旧助成事業に採択 95億円を投入へ

国の直轄管理区間と比べて大幅に遅れていた三篠川広島県管理区間の復旧を河井克行代議士は国土交通省に繰り返し働きかけてきました。その結果、県管理の三篠川のうち、三田・柳瀬吊橋付近から井原・宮古頭首工付近までの18.7キロメートルに約95億円を投じ、築堤、河道拡幅、河床掘削を実施することが12月6日に公表されました。改良復旧を行う区間は、①三田(JR 第一三篠川橋梁周辺)、②三田(竜王橋上流～栗原頭首工)、③三田～秋山(八幡橋～三篠橋)、④小越～井原(堀越頭首工～松田頭首工)、⑤井原(福田頭首工～宮古頭首工上流)の5区間で、残りの区間では原形復旧を行います。事業期間は2018年度から2022年度までです。国の災害復旧助成事業が採択された河川は県内で三篠川だけです。

発災直後の一日も早い応急復旧も河井克行代議士は、国を通じて県に強く働きかけました。安佐北区白木町の井原4ヶ所(迫田橋右岸、末川氏宅前、大寺橋～新大見橋右岸と左岸)、三田6ヶ所(上大椿歩道橋、三田小学校前右岸と左岸、三日市橋右岸、轟橋右岸と左岸)、高南2ヶ所(河原橋右岸と左岸)、安芸高田市向原町の長田4ヶ所(下長田、松尾、吉野橋左岸、鹿淵谷橋右岸)、坂1ヶ所(実重橋左岸)において、県や広島市が実施した応急復旧工事は7月～9月にすべて完了しました。



また、交通障害がつづく三田小学校対岸の県道の一日も早い本復旧も河井克行代議士は国土交通省を通じて働きかけました。

さらに、広島県が管理する三篠川支川の埋塞土砂掘削も実施されました。

- ①奥迫川[800メートル] …2018年9月に作業完了。
- ②湯坂川[300メートル] …2018年9月に作業完了。
- ③見坂川[70メートル] …2018年7月に作業完了。

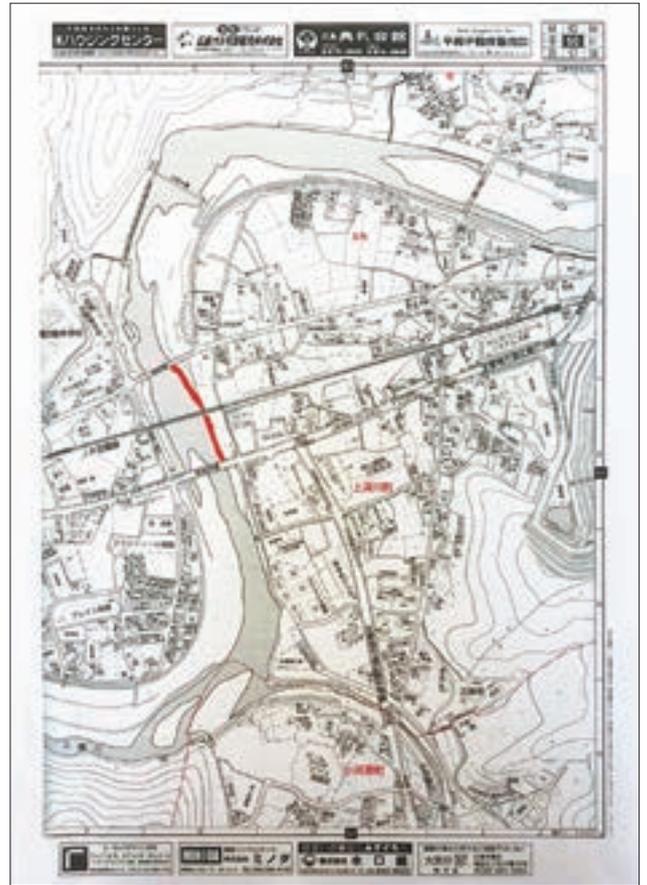
## 三篠川(国直轄管理区間)で 新たな堤防の建設と大規模な河道掘削

上深川町友光地区では10戸以上が床上に浸かる被害が発生しました。自然堤防のままの鳥声橋～新鳥声橋左岸に国が新たに堤防を築いて欲しいとの地元自治会長さんの要望書を



10月4日、河井克行代議士は国土交通省水管理・国土保全局治水課長に手渡し、2019年度の国の事業に盛り込むように働き掛けました。

また、国の直轄管理区間のうち、上深川町に架かる鳥声橋から深川に架かる陰地橋までの間で水位を下げる緊急かつ大規模な河道掘削を実施することになりました。事業費は3億5千万円、工事終了予定は2019年6月です。



**中国地勢 平成30年7月豪雨を踏まえた緊急的な対応 (太田川水系三篠川)**

○平成30年7月豪雨により、三篠川が溢水し、床上浸水などの浸水被害が発生した。

○今後の豪雨に対し、再度災害防止を図るため、推進費を活用して緊急的に河道掘削を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。

広島県広島市安佐北区上深川地先

【位置図】

【平面図】

凡 例

- 推進費執行箇所(当年度施行)
- 災害復旧-緊急(当年度施行)
- 浸水エリア

三篠川において河道掘削を実施することで、水位低下を促し、浸水被害を防止する。

概算費 実施内容

河道掘削 V=55,000m<sup>3</sup>

事業費 0-350百万円

河川掘削箇所イメージ

平成30年7月豪雨 三篠川における浸水被害状況

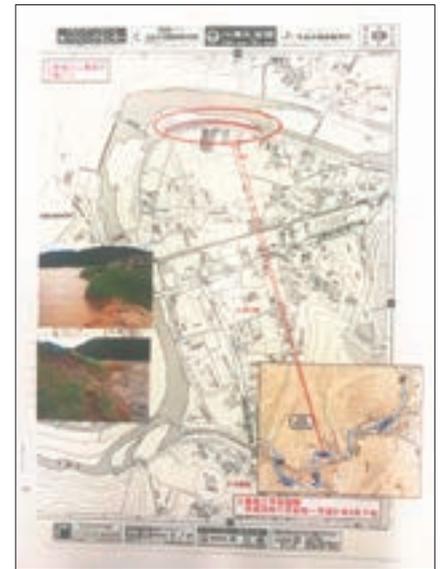
横断面 A-A'

横断面 B-B'

## 9月7日閣議決定予備費第二弾に広島三区から9件採択

8月3日閣議決定された予備費第一弾1,058億円につづき、9月7日閣議決定予備費第二弾616億円にも広島三区関連の復旧事業が9件盛り込まれました。

☆直轄三篠川(安佐北区上深川町3ヶ所、狩留家町)災害復旧事業・災害関連緊急事業に4億9700万円…上深川町の2ヶ所は発災直後から突貫体制で緊急復旧工事を行い、7月17日に完了。新たに実施するのは、上深川町の上深川橋～庄原井堰の左岸、狩留家町と白木町三田の境に架かる柳瀬吊橋の右岸です。工期は2019年3月下旬までの予定です。



直轄三篠川災害復旧事業

☆直轄太田川(安佐北区安佐町久地)災害復旧事業に国費1200万円…中国電力間野平発電所下の太田川右岸で被災した護岸の復旧を実施。工期は2019年3月下旬までの予定です。



直轄太田川災害復旧事業

☆直轄根谷川(安佐北区可部3丁目)災害復旧事業に6800万円

☆直轄土師ダム災害復旧事業に1200万円

☆直轄砂防小田川砂防堰堤工1基に国費2億9100万円、事業費3億2800万円

☆直轄砂防矢口川砂防堰堤工3基に国費4億3600万円、事業費4億9800万円

☆県管理三篠川の緊急的な河川浚渫(宮道橋～迫田橋、新大見橋付近)に防災・安全交付金を配分 [広島県1億5000万円]



直轄砂防小田川砂防堰堤工1基



直轄砂防矢口川砂防堰堤工3基

## 亀崎橋ワイヤロープの交換

広島市が亀崎橋で着手したワイヤロープの交換作業が9月11日(火)に完了しました。現地視察に同行した、木戸経康市議や地元自治会長、水利組合長らの早期着手の要望を河井克行代議士は農林水産省へ働きかけました。



## 白木町自治会長が災害派遣のお礼に 陸上自衛隊第13旅団を訪問

10月1日、河井克行代議士は安佐北区白木町の自治会長さんらと陸上自衛隊第13旅団(安芸郡海田町)を災害派遣のお礼に訪問しました。三田集会所における入浴支援活動、三田小学校・三日市バス停留所・鳥井原バス停留所・高南小学校・井原小学校における給水支援活動に対して、三田学区、高南学区、井原学区の代表者が山根寿一旅団長らに感謝を述べました。7月14日から17日間にわたる入浴支援の利用人数は延べ802人に上りました。



## 「神ノ倉山」地すべり緊急対策工事

安佐北区白木町井原の神ノ倉山で発生した地すべりの緊急対策工事を国が事業費の3分の2を負担して実施することになりました。河井克行代議士は7月22日に現場を視察して以来、国土交通省と広島県に一日も早い緊急砂防工事の着工を求めてきました。



## 民地に流れ込んだ土砂等の撤去費用全額を国が償還する制度

河井克行代議士は発災直後から環境省を通じて、宅地など民地に流れ込んだ土砂・ゴミ・がれき・流木などの災害廃棄物を被災者自身が撤去する際にかかった費用全額を被災者に還付する国の補助金制度の導入を広島市に働きかけてきました。その結果、10月29日から2019年1月末まで広島市下水道局河川防災課土砂等撤去班(082-504-2411)で費用償還の申請を受け付けることになりました。この制度を活用するのに必要なのは次の2点です。①今回の豪雨で発生した自宅敷地など民地にあるゴミ、流木、土砂の撤去に要した費用(例えば、知り合いの建設業者を雇った費用、自分で重機を借りた費用など)の領収書や契約書、②撤去前後の現場写真。

国は、事業費の50%を負担するだけでなく、地方財政措置で47.5%を拠出しますので、広島市の実質負担は2.5%だけです。ただ、広島市が発災から受け付け開始まで100日以上も要したことは遅すぎると言わざるをえません。地方自治体によって対応にバラツキがある現状を国としてどう考え、どう改善するのか、河井克行代議士は環境省に検討を要請しました。



『中国新聞』10月26日付

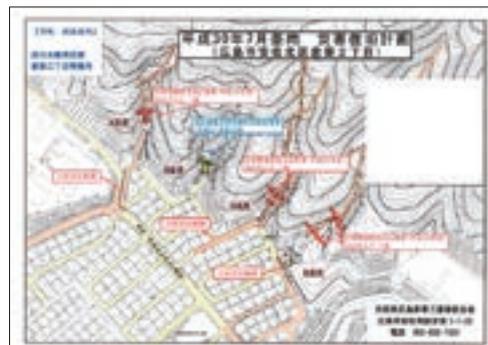
## 林野庁の補助により治山ダムが着工へ



安佐北区倉掛2丁目山沿い地区の安全を確保するため、林野庁の災害関連緊急治山工事が10月24日に採択されました。危険な4溪流のうち3溪流に治山ダム4基の測量・設計を速やかに行い、2018年度中に広島県が工事に着手します。さらに、残りの1溪流にも2019年度以降、治山激甚災害対策特別緊急事業として治山ダムを整備します。(図1)

安佐北区口田南9丁目矢口ヶ丘・口田中学校付近と上深川町友光・研創周辺の安全を確保するため、林野庁災害関連緊急治山工事が11月2日に採択。口田南9丁目口田中学校の裏山に治山ダム2基、上深川町研創の裏山に治山ダム1基、それぞれの測量・設計を速やかに行い、2018年度中に広島県が工事に着手します。(図2、3)

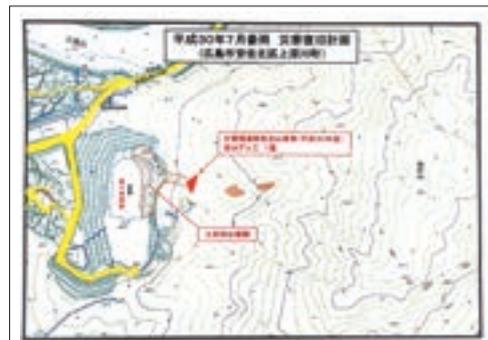
安佐北区白木町三田の芸備線上三田駅近く楠家氏宅付近裏山と、安佐北区小河原町氏の原「有料老人ホームおだやかな園」裏山の安全を確保するため、林野庁災害関連緊急治山工事が11月21日に採択。上三田に治山ダム2基、小河原に治山ダム1基を建設する測量・設計を速やかに行い、2018年度中に広島県が工事に着手します。事業費は国が3分の2、広島県が3分の1を負担しますが、起債措置と普通交付税算定により実際に県が負担するのは16.5%で済みます。地元自治体(広島市)負担はありません。(図4、5)



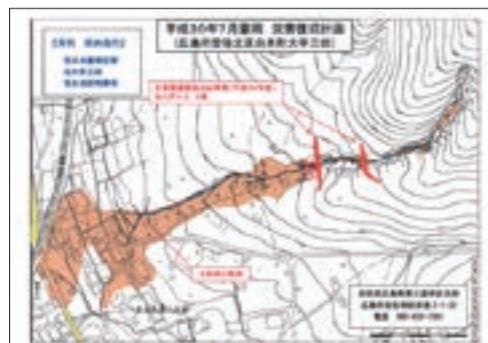
▲(図1)安佐北区倉掛2丁目



▲(図2)安佐北区口田南9丁目



▲(図3)安佐北区上深川町



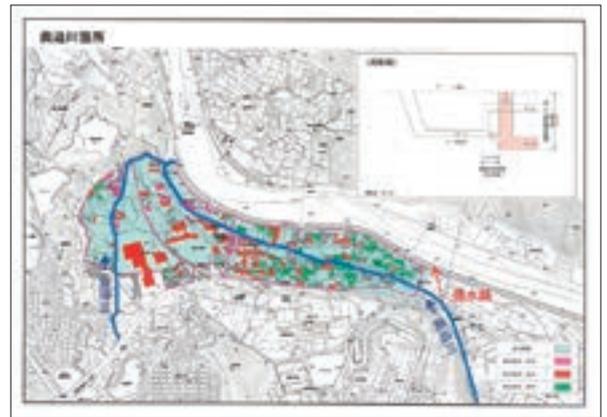
▲(図4)安佐北区白木町大字三田



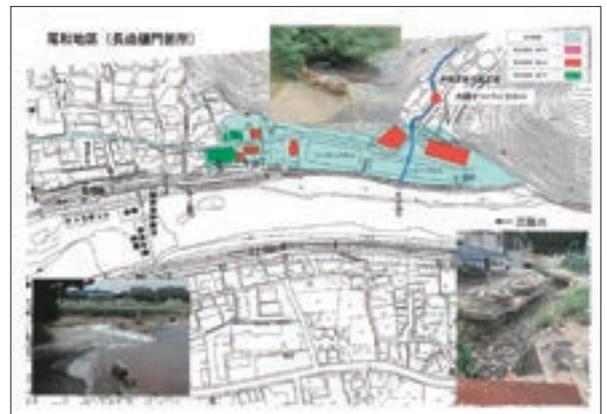
▲(図5)安佐北区小河原町

## 深川学区浸水対策

床上152戸・床下78戸の浸水被害を出した三篠川支川の奥迫川と奥田川の内水浸水対策として、広島県が捷水路(ショートカット)の建設を検討しています。奥迫川を流れる毎秒39トンの水量のうち38トンが、ゲートボール場横の樋門を通ることなく、深川7丁目付近から直に三篠川へ流れ込みます。早期完成を県に働きかけるよう、河井克行代議士は国に求めました。



10数棟が床上・床下浸水の被害に遭った尾和自治会の長迫樋門周辺。樋門の内水による浸水ではなく、山際から流れてくる弁柄(べんがら)川が水路から溢れ出したことが原因と国の調査で判明しました。国が広島市と協議した結果、市が拡幅工事の設計を2018年度に行い、改良工事に2019年度着手することになりました。



## 小田川・矢口川上流の強靱ワイヤネット現地見学会

3名の犠牲者を出した安佐北区の小田川(口田南3丁目)と矢口川(口田南5丁目)の上流部に国が設置した強靱ワイヤネットの現地見学会が10月22日に行われました。4年前の「8.20.豪雨災害」の経験を踏まえた河井克行代議士は、強靱ワイヤネットを含む応急対策の早期導入を国土交通省に働きかけるとともに、被災者皆さまの理解を深めるため見学会の開催を太田川工事事務所に要請していました。



## 矢口川排水機場の改良

大量の流木やゴミが流入して十分に稼働しなかった矢口川排水機場の事案の徹底した原因究明と一日も早い抜本的な改善を河井克行代議士は国土交通省に強く要請しています。まずは応急措置として11月28日、災害対策等緊急事業推進費が除塵設備の改良に4900万円配分されました。

## 小規模事業者復興支援の「グループ補助金」が2商工会へ

被災中小企業・小規模事業者の施設・設備の復旧費用の4分の3(国が2分の1、県が4分の1)を支援する「グループ補助金」が高陽町商工会復興支援グループ(10月24日)と安芸高田市商工会復興支援グループ(11月20日)に拠出されることが発表されました。

## 安芸高田市における緊急対策事業

8月6日平和祈念式典に参列した後、防災服に着替えた河井克行代議士は、江の川の浸水被害箇所を浜田一義・安芸高田市長、市議、地域振興会長らのご案内、国土交通省の同行で視察しました。その際に国に要請した江の川と大土川の合流部付近での樹木伐採と河道掘削が緊急かつ優先的に実施することになりました。2019年2月末までに完了する予定です。



安芸高田市吉田町中馬の石佛地区で発生したがけ崩れの緊急対策工事を国の補助で安芸高田市が実施します。事業費約5100万円のうち国の補助は2分の1。残りを広島県と安芸高田市が負担します。2019年2月に事業着手、2020年3月に事業完了の予定です。

## 三原市視察

7月26日(木)、河井克行代議士は生まれ故郷・三原市の被災地を視察しました。猛暑の中、天満祥典市長、仁ノ岡範之市議会議長らのご案内、環境省、国土交通省、広島県の同行で回りました。市役所で被災状況の説明を受けた後、土石流が発生した木原六丁目、沼田川と支川が氾濫した下北方と本郷町船木の中筋地区・川西下地区・船木小学校跡、土砂災害がおきた大和町大草河頭地区を回り、三原市久井支所で被害調査結果を聴き取りました。



## 「8.20. 豪雨災害」被災地のいまを視察

河井克行代議士は豪雨災害から丸四年目にあたる8月20日(月)、安佐南区の山本学区、緑井学区、梅林学区、八木学区、安佐北区の大林学区、可部学区にある国の直轄砂防ダムの現況を渡辺典子県議、今田良治市議会副議長、伊藤昭善市議、海徳裕志市議のご同行、国土交通省の案内で見て回りました。また、7月豪雨災害で大規模な土石流が発生した安佐北区口田学区の矢口川と小田川の国土交通省砂防ダム予定地も視察しました。当日、八木学区の皆さまから要望された、7月豪雨で発生した上細野地区の家屋浸水と下細野地区の土砂崩れの対策を河井克行代議士が国土交通省砂防部などに働きかけた結果、①29溪流・上細野堰堤…土石流堆積工を2018年度中に発注し、2019年度中に完成、②28b溪流・下細野2号堰堤…2018年度中に発注することが決まりました。



# 崖崩れ緊急対策事業が国道191号 安芸太田町津浪で実施

6月6日に発生した国道191号線崖崩れ災害の早期復旧および迂回高速道路無償化について、河井克行代議士は小坂眞治・安芸太田町長らから要望を受けました。さっそく高速道路の代替路無料措置は広島北インターチェンジ～戸河内インターチェンジで6月14日から適用されました。また、災害防止と通行者の安全安心を確保するための道路防災対策事業が10月3日に採択され、1億7600万円の事業費を投じてアンカー工等による緊急法面工事が行われています。工期は2019年3月末までの予定です。



# ゆめづくり[夢創造] フォーラムPart27を開催

8月29日夜、広島市内のホテルにて、花田紀凱氏(『月刊 Hanada』編集長、『週刊文春』元編集長)を講師に迎え、自民党広島県第三選挙区支部・河井克行後援会「三矢会」連合会共催「ゆめづくり[夢創造]フォーラム」を行いました。

7月の豪雨災害犠牲者に黙祷を捧げたのち、豪雨被災地首長を含むご来賓の祝辞、安倍晋三自民党総裁メッセージの披露につづき、花田編集長の熱のこもった講演で「安倍三選」に向けた狼煙を広島から上げることができました。



# 各地で広がる後援会「三矢会」の輪



北広島町千代田地域三矢会「やよい会」総会(5月19日)



三矢会原南支部役員会(11月10日)



安芸高田市三矢会連合会「やよい会」交流会が  
北広島町芸北オークガーデンで開催(11月12日)



## みなさまとのふれあいが 河井克行の力になります



7月豪雨で土石流に見舞われた山本鹿ヶ谷でもみじまつりが開催。  
河井克行代議士は国から広島県・広島市に復旧支援を働きかけました(11月23日)



大塚・伴南ふれあい祭り(7月21日)



春日野学区町民運動会には、河井克行代議士が思い切り転倒して以来、消えた種目があるとか… (5月20日)



安神社の夏祭り「おぎおんさん」で今年も神輿を担いだあんり夫人を激励(7月28日)



大町学区体協ソフトボール部懇親会。さて河井克行代議士はどこにいらっしゃるでしょうか(8月19日)



27年間お参りを重ねている阿戸明神社秋祭りの前夜祭(10月13日)



安古市町商工会総代会で人手不足対策事業、事業承継支援の減税・予算、賃上げや設備投資支援の減税を報告しました(5月27日)



今年も安佐郡川内村温井義勇隊慰霊碑にお参りました(8月6日)



三篠川と関川の合流部にある白木いづみ保育園は、運動場や設備の一部が堤防ごと流出。河井克行代議士は広島県に早期の復旧を働きかけました(10月6日)



「平成11年6.29.豪雨災害」から19年。勝木自治会は住民避難訓練を実施しました。「6.29.豪雨災害」は「平成26年8.20.豪雨災害」、「平成30年7.6.豪雨災害」の原点です。国が巨額の予算を投入する「広島県西部山系直轄砂防事業」を始めたきっかけにもなりました(6月24日)



「8.20. 豪雨災害」で団地のほぼ半分が土砂に埋まった新建の夏まつり。あの災害をみんなで乗り越えられたと思うと、胸がいっぱいになりました(8月5日)



20年間以上お参りしてきた可部・城地区の庚申神社まつりの出店や野外カラオケ大会が今年で最後。長い間ありがとうございました(12月2日)



桐陽台二丁目・梢台敬老会(9月17日)



森城夏まつり(8月11日)



小河内昭和劇団の名優たちと公演開始直前のひととき(11月3日)



真亀学区秋まつり(10月27日)



吉備津神社秋祭りの前夜祭(10月27日)



いつも温かいお出迎え下佐農民祭(11月18日)



若い人が盛り上げる美土里・本郷盆踊り



満開の向原しょうぶまつり(6月9日)



こうだわいわい祭・商工祭(10月14日)



八千代およりん祭(11月4日)



吉田の管絃祭は今回が最後でした(7月28日)



元気が弾ける豊平・今吉田盆踊り(8月12日)



うどん美味しかったよ!千代田・八重東地域の神楽太刀納め(11月24日)



若さと規律に圧倒された新庄学園体育祭(5月19日)



つつがふるさとまつり・つつが神楽祭(11月11日)



納涼加計まつり(7月14日)



若い世代が毎月集まり、町の未来を自由闊達に議論する「安芸太田町活性化研究会」が結成。河井克行代議士も応援します!(8月31日)



自民党「更生保護を考える議員の会」幹事長を務める河井克行代議士は、広島県更生保護女性の集い記念祝賀会で祝辞を述べました(10月9日)



今井秀明・広島県土地家屋調査士会名誉会長の黄綬褒章受章祝賀会で祝辞(11月9日)



大村秀章愛知県知事政経セミナーで平成8年衆議院初当選同期として祝辞(11月26日)



# 国会事務所へようこそ



2006年から三期9年半の間カナダ保守党を率い首相を務めたハーパー氏と国際情勢を意見交換しました(5月11日)



宇宙飛行士出身者として初めて宇宙航空研究開発機構(JAXA)の理事に就任した若田光一氏のご挨拶に。若田さんとは20年以上のお付き合いです(5月17日)

## 河井克行代議士は毎日SNSから 災害関連の最新情報を発信しています

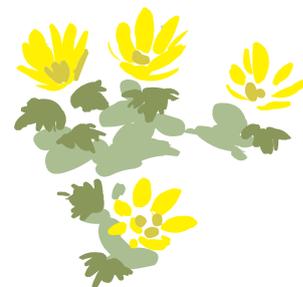
昨年7月6日以来、河井克行代議士は連日、被災現場や避難所をできる限りくまなく歩き、自治会長さんをはじめ地元の皆様からご要望を受けてきました。河井克行代議士の国への強い働き掛けによって、国が前面に出た迅速な緊急対策や大規模な復旧・復興事業が相次いで実施されています。最新の情報は、毎日更新される河井克行代議士の公式フェイスブックや公式ブログを通じてご活用ください。ぜひ被災地のお知り合いにもお知らせください。

facebook

[www.facebook.com/kawaikatsuyuki](http://www.facebook.com/kawaikatsuyuki)

Blog あらいぐまのつぶやき

<https://ameblo.jp/katsuyuki-kawai/>



## 自民党広島県第三選挙区支部 衆議院議員 河井克行事務所

国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町 2-1-2 衆議院第二議員会館 1208 号室  
TEL : 03-3581-5111(内線 71208) 03-3508-7518(直通) FAX : 03-3508-3948

広島事務所

〒731-0153 広島市安佐南区安東 2-1-22  
TEL : 082-832-7301 FAX : 082-878-3301

facebook

河井克行公式フェイスブック更新中

「いいね!」を押して最新活動報告をチェック!  
[www.facebook.com/kawaikatsuyuki](http://www.facebook.com/kawaikatsuyuki)